国 語

6年㊦ S⑪

① 1 類推　2 出版　3 投入　4 縦横　5 脳裏
6 利器　7 半ば　8 放つ　9 感傷　10 運賃
11 樹立　12 訳　13 処置　14 余地　15 貯蔵

② 問一 1 **キ**　2 **ク**　3 **エ**　4 **オ**　5 **ア**
問二 1 **喜**　2 **両**　3 **付**　4 **千一**　5 **七**

③ 問一 **イ**
問二 **女性では、主体的な決断を避け友人関係に依存しがちな人が、男性では、リーダー的役割を果たすコミュニカティブな人**〔が、ケータイ依存度が高い傾向にある。〕
問三 1 **ウ**
2 **駄目な夫を支える私、という形で自身のアイデンティティを保つことができなくなる**
3 **ア**
問四 **ウ**
問五 1 ⑥〔段落から〕　2 ③〔段落から〕

④ 問一 **ア**　問二 **イ**
問三 1 **場を共有**　2 **存在をそのまま受け止める**
問四 **イ**
問五 **意味の表出と受容**
問六 **エ**　問七 **ウ**
問八 **友だちとは仲良くしたいので、ついつい相手の言うことをすぐに肯定してしまうけれど、それでは理解をおしつけているだけだ。よけいな言葉をはさまずに、じっくり耳を傾けることや、顔の表情などで相手への誠実な思いを示すことを大事に話を聞くのがいいと思う。**

⑤ 問一 1 **ア**　2 **ウ**
問二 1 **エ**　2 **イ**　3 **ア**

解 説

③ 出典は、鈴木謙介「カーニヴァル化する社会」〈講談社〉。

問一 「ケータイ依存がどの程度特殊な事態なのか」留保しなければいけない、ということは、ケータイ依存が特殊なのか、そうでないのかを見極めてから、これについて考えていかないといけないということです。そしてなぜ「特殊でないのかもしれない」と筆者が考えるか、その理由は「思春期の女子は一般に、友人関係の中で相互依存を深める傾向があり、ケータイだけが依存の原因となっているかどうかについて、明確にはわからないから」（5～7行め）です。ケータイへの依存の有無を云々する前に、友人関係への依存がまずあるのではないかと検討する必要があると述べているのです。

問二 男女の違いを問うているので、「たとえば女性の場合」（13・14行め）からの二文と、「男性の場合」から始まる④段落全体をよく読んで、違いがわかるように字数内でまとめることになります。最も大きな違いは、女性は「主体的な決断」をせず、「友人関係に依存しがち」な人がケータイに依存する傾向があるのに対して、男性では「リーダー的役割」を担う、「コミュニカティブ」な人が依存傾向が高いというところです。ほぼ反対のこの特徴を過不足なくおさえましょう。

問三 1・2…アルコール依存症者とその家族の関係を、「共依存」の状態として説明している⑧段落をよく読み、ここに示された「依存症者である夫」と「妻」の関わり方を理解しましょう。本文では患者の妻の状態に焦点が当てられています（38～41行め）。夫が依存状態にあるからこそ「駄目な夫を支える」（40行め）素晴らしい妻でいられる、つまり自らの「アイデンティティ」（41行め）を保てて自信を持てる、そういう妻にとっては、極端なことを言えば夫が良くならないほうが望ましい状態と言えます。もちろん自らを「献身的」と評価している妻が意図的に夫の邪魔をするわけはないのですが、上に述べたような意識があるため、結果として妻が夫の治療の足を引っ張ってしまっている、ということになります。3…問二・三も参照してほしいのですが、ここまでに筆者は、「ケータイ依存」の「ケータイ」というものの特徴を考える以前に、それを用いる人の人間関係、他者への依存の状態を検討していくべきではないかと提言しています。そのうえで、「共依存」の社会学的分析は、「ケータイ依存」を理解するヒントになりうると述べている。つまり、アルコール依存症の夫婦に見られるような、いびつな依存の形に通じるものが、ケータイを用いる若者たちの人間関係の中にもあるのではないか、と筆者が考えていることがわかります。それを解き明かしていくことが、若者のケータイ依存の解決の糸口にもなるではないかという筆者の考えを読み取りましょう。

問四　傍線内の言葉をよく吟味しましょう。「この友達が好きだからこの子と繋がりたい」という特定の相手への思いがあれば、「繋がりあいのための繋がりあい」という考えはそもそも成り立ちません。好きな相手とだけ繋がって、そうでない相手とは繋がらなければ済むことです。対人関係においてそういった主体的な選択をすることに臆病になり、自分は周囲の人とうまくやっていると自分自身を安心させたいために、とにかく誰かと繋がっていようとする。この場合、相手が誰であれ、確かに誰かと繋がっていると思えればいいのです。この強迫感が現代の子どもたちの手からケータイを離させないのではないかと筆者が分析していることを理解しましょう。

問五　1…「ところで」（27行め）という⑥段落冒頭の接続語がヒントになります。ここまでは「ケータイ依存」について考えてきていますが、⑥段落から（「ケータイ依存」について考えるためではありますが）「共依存」の考え方が登場します。2…「ケータイ依存」の話題を出し、これを考えるにあたり「留保」（2行め）すべきことを二点示したのが①・②段落。③～⑤段落は、ケータイ依存の「男女のあり方の違い」について説明しています。

④　出典は、梶谷真司「考えるとはどういうことか―0歳から100歳までの哲学入門」〈幻冬舎〉。

問一　確かに、「受け入れる」ことと「受け止める」ことの違いは書かれていますが、両者の「厳密な」違いが話題の中心にあるわけではありません。両者の違いを説明しながら、「受け入れようとする」のではなく、「受け止めようとして」相手の話を聞くべきだと筆者は主張しています。この「受け止める」という姿勢に価値があることは、「重要なのは、ただ『受け止める』ことだ」（29行め）、及び「『聞くこと』において本質的～受け止めることだ」（55・56行め）に明確に示されています。ウは、そもそも「理解しようとする」態度に筆者は否定的なので違います。

問二　話す相手を「安易に理解した気になって」どういう対応をしがちか、10行めからの段落に例示されています。「理解することに正確さや完璧さを求めれば、そんなことは無理に決まっている」（25行め）とあることから、前半が間違っています→イ×。

問三　「受け止めることが大事だ」ということを言っている部分、つまり文章を通して筆者の言いたいことが書かれている段落（54行め～）をよく読んでください。すると、「受け止める」とはどうすることなのか丁寧に書いてあります。聞き手はむやみに話し手を理解しようとするのでなく、その人のためにその場にいて、つまり「場を共有」して、「その人の存在をそのまま受け止める」（56行め）ことが大切だという筆者の考えをおさえましょう。

問四　傍線部直後に書かれているのは、「独特のルール」の内容です。なぜそんなルールがあるのかについては、「普通に考えれば」（39行め）からの連続した4段落に説明されています。アルコールや薬物に依存する人たちは、「虐待を受けていたことが多」（40行め）く、その環境から「話すことに極端に慎重、臆病になる」（43行め）とあります。よけいなことを言ってまた殴られるのではないか、などと考えてしまうのでしょう。だから聞き手の「反応」が「つねに気になる」（45行め）。このように委縮してしまう人に自分の思うことをそのまま話してもらおうと思ったら、「反応」を求めないのが一番だ、となったのでしょう。「相手が反応しないと～集中できるだろう」（52・53行め）に着目しましょう。話す人が「安心して話すことができる」ためのルールだという点が特に重要です。

問五　「双方向的」とはどういうことでしょうか。「双」は両方、という意味ですから、互いに相手の方向に向かっている、というように理解できます。親と赤ん坊の関係に戻してこれを解釈していくと、言葉の上では赤ん坊はまだ話せませんから、親から子へ一方的なのは自明です。ところが身体的な何らかのメッセージのやり取りにおいては、「双方向的」、つまり互いにメッセージを送りあいわかりあっている、そしてこのメッセージは、「意味」（70行め）と表現されています。大人から赤ん坊へ、赤ん坊から大人へ、何かしら伝えたい「意味」を表し、そして受け手がその意味を受け止めると一種のコミュニケーションが成り立つことになります。この動きを「意味の表出と受容」（75行め）と筆者は表しており、まさにこれが「双方向的」であることだと確認できます。

問六　問五で確認した「意味の表出と受容」が「言語以前」と言えるのは、親と赤ん坊のかかわりに限らず、言語を必要としない「身体と感情のレベルでのつながり」が人と人との間に見いだせるからです。対話関係において、言語以前どころか「言語以上」と言えるほどこのつながりが重要なのは、「深さと広がり」という言葉を用いていることからもわかります。では、言葉などいらない「身体と感情レベルでの」「つながり」の例としてふさわしいものはどれか。双方向的に相手の思いを受け止めていて、言葉を必要とせずに「つながっている」状態と言えるものを選びます。

問七　正確な理解の難しさを述べ、「受け入れる」のではなく「受け止める」べきだと示したのが大きく一番めの部分です。そしてただ相手を「受け止める」価値を、「ダルク女性ハウス」の事例を挙げて裏付けたのが二番めの部分。三番めは、親と赤ん坊の関わり方をヒントに、言語以前の関係によって支えられている「対話」というものについて考える部分です。

問八　友人の話をどう聞くとよいか、よりよい対話という視点から考えて書きます。よくないと思う聞き方にも触れながら説明しないといけません。文章全体をふまえると、「受け止める」「受け入れる」「理解する」などの言葉がキーワードになり、もっとも重要なのは「受け止める」ということです。もちろん、直接これらの言葉を使わないといけないということではなく、筆者がどういう意図でこれらの言葉を使っているかおさえたうえで、自分なりに具体的に書くことができればより高く評価できます。筆者の意図を離れて一般論的に書かないようにする注意が必要です。

教科別正答率一覧表　国語　6S

問題名	領域　・　内容	配点		正答率（%） 0% 50% 100%	結果
１　１	漢字の書き取り・類推	1	91.0		
１　２	漢字の書き取り・出版	1	97.1		
１　３	漢字の書き取り・投入	1	89.9		
１　４	漢字の書き取り・縦横	1	94.1		
１　５	漢字の書き取り・脳裏	1	93.1		
１　６	漢字の書き取り・利器	1	74.2		
１　７	漢字の書き取り・半ば	1	92.1		
１　８	漢字の書き取り・放つ	1	92.3		
１　９	漢字の書き取り・感傷	1	79.0		
１　１０	漢字の書き取り・運賃	1	95.6		
１　１１	【復習】漢字の書き取り・樹立	1	95.2		
１　１２	【復習】漢字の書き取り・訳	1	96.2		
１　１３	【復習】漢字の書き取り・処置	1	94.9		
１　１４	【復習】漢字の書き取り・余地	1	85.9		
１　１５	【復習】漢字の書き取り・貯蔵	1	88.3		
２　問１　１	熟語の組み立て・あてはまるものを選択	1	84.3		
２　問１　２	熟語の組み立て・あてはまるものを選択	1	99.1		
２　問１　３	熟語の組み立て・あてはまるものを選択	1	96.2		
２　問１　４	熟語の組み立て・あてはまるものを選択	1	73.3		
２　問１　５	熟語の組み立て・あてはまるものを選択	1	98.5		
２　問２　１	四字の熟語・漢字を入れて完成させる	1	82.8		
２　問２　２	四字の熟語・漢字を入れて完成させる	1	85.6		
２　問２　３	四字の熟語・漢字を入れて完成させる	1	91.6		
２　問２　４	四字の熟語・あてはまる漢数字を足した数	1	85.4		
２　問２　５	四字の熟語・あてはまる漢数字を足した数	1	84.1		
３　問１	意見と根拠・適切なものを選択	3	84.8		
３　問２	記述問題・どのような人か	10	53.6		
３　問３　１	話題と要点・適切なものを選択	3	91.4		
３　問３　２	記述問題・理由を説明	8	60.5		
３　問３　３	意見と根拠・適切なものを選択	3	80.1		
３　問４	話題と要点・適切なものを選択	3	77.3		
３　問５　１	段落・文章を二つに分ける	3	81.4		
３　問５　２	段落・文章をさらに二つに分ける	3	64.9		
４　問１	話題と要点・適切なものを選択	3	50.3		
４　問２	話題と要点・あてはまらないものを選択	3	76.4		
４　問３　１	話題と要点・説明文の空欄補充	4	80.8		
４　問３　２	話題と要点・説明文の空欄補充	4	72.9		
４　問４	意見と根拠・適切なものを選択	3	89.4		
４　問５	話題と要点・ぬき出し	3	52.8		
４　問６	話題と要点・適切なものを選択	3	66.4		
４　問７	段落・文章を三つに分ける	3	70.6		
４　問８	記述問題・どのように聞くのがよいと思うか	8	31.1		
５　問１　１	【復習】語句の意味・適切なものを選択	1	30.5		
５　問１　２	【復習】語句の意味・適切なものを選択	1	56.5		
５　問２　１	【復習】外来語・ふさわしいものを選択	1	99.5		
５　問２　２	【復習】外来語・ふさわしいものを選択	1	99.5		
５　問２　３	【復習】外来語・ふさわしいものを選択	1	98.7		

評価表　教科別・総合

6S

偏差値	算数	国語	理科	社会	2教科計	3教科計	4教科計
83	100						318
82	99					252	315 ~ 317
81	98				184 ~ 185	250 ~ 251	312 ~ 314
80	96 ~ 97				182 ~ 183	247 ~ 249	310 ~ 311
79	95				180 ~ 181	245 ~ 246	307 ~ 309
78	94				179	243 ~ 244	304 ~ 306
77	92 ~ 93				177 ~ 178	240 ~ 242	302 ~ 303
76	91				175 ~ 176	238 ~ 239	299 ~ 301
75	90				173 ~ 174	236 ~ 237	296 ~ 298
74	89				171 ~ 172	233 ~ 235	294 ~ 295
73	87 ~ 88			70	170	231 ~ 232	291 ~ 293
72	86		70	69	168 ~ 169	229 ~ 230	289 ~ 290
71	85	92	69		166 ~ 167	227 ~ 228	286 ~ 288
70	83 ~ 84	91	68	68	164 ~ 165	224 ~ 226	283 ~ 285
69	82	90	67	67	163	222 ~ 223	281 ~ 282
68	81	89		66	161 ~ 162	220 ~ 221	278 ~ 280
67	79 ~ 80	88	66	65	159 ~ 160	217 ~ 219	275 ~ 277
66	78	87	65		157 ~ 158	215 ~ 216	273 ~ 274
65	77	86	64	64	155 ~ 156	213 ~ 214	270 ~ 272
64	76	85	63	63	154	211 ~ 212	267 ~ 269
63	74 ~ 75	84	62	62	152 ~ 153	208 ~ 210	265 ~ 266
62	73	83	61		150 ~ 151	206 ~ 207	262 ~ 264
61	72	82	60	61	148 ~ 149	204 ~ 205	259 ~ 261
60	70 ~ 71	81	59	60	147	201 ~ 203	257 ~ 258
59	69	80	58	59	145 ~ 146	199 ~ 200	254 ~ 256
58	68	79	57	58	143 ~ 144	197 ~ 198	251 ~ 253
57	66 ~ 67	78	56		141 ~ 142	195 ~ 196	249 ~ 250
56	65	77		57	139 ~ 140	192 ~ 194	246 ~ 248
55	64	76	55	56	138	190 ~ 191	243 ~ 245
54	63		54	55	136 ~ 137	188 ~ 189	241 ~ 242
53	61 ~ 62	75	53		134 ~ 135	185 ~ 187	238 ~ 240
52	60	74	52	54	132 ~ 133	183 ~ 184	235 ~ 237
51	59	73	51	53	131	181 ~ 182	233 ~ 234
50	57 ~ 58	72	50	52	129 ~ 130	178 ~ 180	230 ~ 232
49	56	71	49	51	127 ~ 128	176 ~ 177	227 ~ 229
48	55	70	48		125 ~ 126	174 ~ 175	225 ~ 226
47	53 ~ 54	69	47	50	123 ~ 124	172 ~ 173	222 ~ 224
46	52	68	46	49	122	169 ~ 171	219 ~ 221
45	51	67	45	48	120 ~ 121	167 ~ 168	217 ~ 218
44	50	66		47	118 ~ 119	165 ~ 166	214 ~ 216
43	48 ~ 49	65	44		116 ~ 117	162 ~ 164	211 ~ 213
42	47	64	43	46	115	160 ~ 161	209 ~ 210
41	46	63	42	45	113 ~ 114	158 ~ 159	206 ~ 208
40	44 ~ 45	62	41	44	111 ~ 112	156 ~ 157	204 ~ 205
39	43	61	40		109 ~ 110	153 ~ 155	201 ~ 203
38	42	60	39	43	107 ~ 108	151 ~ 152	198 ~ 200
37	40 ~ 41	59	38	42	106	149 ~ 150	196 ~ 197
36	39	58	37	41	104 ~ 105	146 ~ 148	193 ~ 195
35	38	57	36	40	102 ~ 103	144 ~ 145	190 ~ 192
34	37	56	35		100 ~ 101	142 ~ 143	188 ~ 189
33	35 ~ 36	55	34	39	98 ~ 99	139 ~ 141	185 ~ 187
32	34	54		38	97	137 ~ 138	182 ~ 184
31	33	53	33	37	95 ~ 96	135 ~ 136	180 ~ 181
30	31 ~ 32		32		93 ~ 94	133 ~ 134	177 ~ 179
29	30	52	31	36	91 ~ 92	130 ~ 132	174 ~ 176
28	29	51	30	35	90	128 ~ 129	172 ~ 173
27	27 ~ 28	50	29	34	88 ~ 89	126 ~ 127	169 ~ 171
26	26	49	28	33	86 ~ 87	123 ~ 125	166 ~ 168
25	25	48	27		84 ~ 85	121 ~ 122	164 ~ 165
24	24	47	26	32	82 ~ 83	119 ~ 120	161 ~ 163
23	22 ~ 23	46	25	31	81	117 ~ 118	158 ~ 160
22	21	45	24	30	79 ~ 80	114 ~ 116	156 ~ 157
21	20	44	23		77 ~ 78	112 ~ 113	153 ~ 155
20		43		29		110 ~ 111	150 ~ 152
19		42	22	28		107 ~ 109	148 ~ 149
18		41	21	27		105 ~ 106	145 ~ 147
17		40	20	26			143 ~ 144
16		39					
15		38		25			
以下				20 ~ 24			
平均	57	72	50	52	129	179	231
人数	547	547	547	531	547	547	531